

2025年度

ニチキッズ東光台保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月23日（金）～1月29日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念を基本とし「こどもの主体性」を意識し一人ひとりの子どもに寄り添い丁寧な保育を進めることが出来た。実体験を多く取り入れ感性豊かな子どもの育ちを目指した。
子どもの発達援助	学年ごとにチームで話し合う機会を多くとり、支援を要する子への情報共有を全職員で行ってきた。遊びの内容や環境構成を整え、職員間の連携を密にしたことで子どもたちの発達に合った援助をすることが出来た。
保護者に対する支援	常にオープンな園でありたいと積極的に行事やフリー参観を実施し、保護者と子どもたちの成長を共有し合った。食育活動では祖父母の方や地域の方の協力で園内の畑で野菜づくりを体験し収穫から食育へと繋がられた。
保育を支える組織的基盤	園内研修や職員会議を通して、保育の見直しを積み重ねることで職員一人ひとりが責任をもって自分の役割りを明確にして取り組むことが出来た。園の職員としての同僚性を高め、経験や価値観の違いを尊重し合い、安心して意見を出し合い支え合える関係性を築いていきたい。

総評
開園5年目の2025年度は満定員数の園児を受け入れることができ、活気ある保育内容や行事を作り上げる勢いのある一年になった。全職員が一丸となって保育に携わることができ、園の特色が表面化してきたと感じる。常に子ども主体の保育を心がけ、子どもの意見を丁寧に取り入れてきたことで、以上児クラスを中心に日々の保育の中から、気づきや挑戦「こうなっているんだ」「こうしてみよう」とするおもいっきりSTEAM活動が展開されている。今後も子どもたちの「いきいき、わくわく」の姿や成長を保護者の皆さまと共有しながら、地域に根ざした選ばれる園を目指して笑顔溢れる園づくりに取り組んでいきたい。